



Video SLA Assessment Agent 3.1 インストールガイド

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

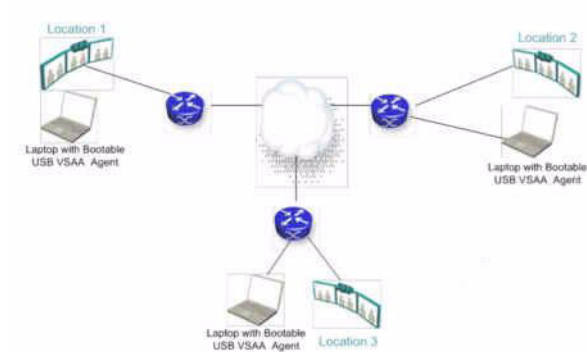
このマニュアルは、Cisco Prime Collaboration 9.0 ユーザを対象としています。

VSA Agent の概要

Prime Collaboration は、Cisco TelePresence システムを導入またはアップグレードする際に、VSA Agent を使用してネットワークの対応状況を評価します。VSA Agent により、ネットワーク パス特性 (遅延、ジッター、パケット損失などの測定値) が導入前に得られます。VSA Agent では、評価プロセスの自動化により、導入に要する時間が短縮され、導入作業が簡素化されます。『[Cisco Prime Collaboration 9.0 Network Monitoring, Reporting, and Diagnostics Guide](#)』の「Diagnostics for Video Endpoints」を確認することを推奨します。

VSA Agent テストは、送信元と宛先の 2 つのシステム間で実行されます。これらのシステムは、送信元および宛先のビデオ フィード (Cisco TelePresence System) と同じトポロジ上に存在する必要があります。VSA Agent は、送信元システムと宛先システムの両方に導入する必要があります (導入トポロジについては、[図 1](#) を参照してください)。

図 1 VSA Agent の導入トポロジ



システムと USB ドライブの要件

VSA Agent 3.1 は、USB ドライブ上でのみインストールできます。表 1 に、VSA Agent ソフトウェアを実行するために必要なシステムと USB ドライブの要件を示します。

表 1 システムと USB ドライブの要件

パラメータ	要件
プロセッサ	Intel Pentium 4 以上
CPU 速度	2 GHz 以上
RAM サイズ	2 GB 以上
Ethernet	1 Gig
スワップ サイズ	不要。
ディスク容量	不要。VSA Agent は USB ドライブから実行されます。
USB フラッシュ ドライブ	16 ~ 32 GB (注) 32 GB を超えるメモリの USB ドライブは使用しないでください。
USB バージョン	2.0
システムの USB ポート	2.0
推奨 USB メーカー	<ul style="list-style-type: none"> Kingston Patriot (注) VSA Agent のインストールには、パーティションのある USB ドライブ (SanDisk USB ドライブなど) を使用しないでください。



(注) システム上のディスプレイ ドライバ、USB ドライバ、および Intel Chipset Device Software は、Fedora Linux オペレーティング システムをサポートする必要があります。テスト済みのシステムおよび USB ドライブについては、「付録：テスト済みのシステムおよび USB ドライブ」(P.8) を参照してください。

ポート要件

表 2 に、VSA Agent が使用するポートを示します。これらのポートは、VSA Agent がインストールされている送信元システムと宛先システムにおいて、双方向で開いている必要があります。

表 2 ポート要件

ポート番号	プロトコル
22	TCP
80	TCP
123	UDP
5060	TCP
8080	TCP
8081	TCP
8090	TCP
16384 ~ 16788	UDP

ICMP ping コマンドと traceroute コマンドを次の間で使用できることを確認してください。

- VSA Agent システム間
- VSA Agent システムおよび Prime Collaboration Assurance サーバ

USB ドライブへの VSA Agent のインストール

VSA Agent のインストールは、次の 2 つの手順で構成されます。

1. [VSA Agent 用のブート可能 USB フラッシュ ドライブの作成](#)
2. [USB ドライブからのブート](#)

VSA Agent は、実稼働環境でテストする前に、ラボ環境にインストールしてテストすることを推奨します。

VSA Agent 3.1 ソフトウェアを複数の USB ドライブにインストールする場合は、すべてのシステムに同じ VSA Agent バージョンがインストールされるようにしてください。

はじめる前に

1. 次の点を確認します。
 - インストール用に少なくとも 16 GB の USB ドライブを使用できる。



注意 32 GB を超えるメモリの USB フラッシュ ドライブは使用しないでください。

- インストール用に USB 2.0 ポートを使用できる。USB 3.0 ポートでは、VSA Agent をインストールできません。
 - USB ドライブを使用するシステム上で管理者権限を使用できる。
2. VSA Agent をインストールする Windows システムに、Cisco Prime Collaboration の [ソフトウェアダウンロード](#) サイトから次のイメージをダウンロードします。

- pc90-vsaa-creator-3.1.0.0-FC14.zip
- pc90-Fedora-14-i686-Live-Desktop.iso



(注)

これらのファイルをダウンロードするには、有効な Cisco.com ユーザ アカウントが必要です。

VSA Agent 用のブート可能 USB フラッシュ ドライブの作成

ブート可能 USB フラッシュ ドライブを作成するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** ソフトウェア ダウンロード サイトの zip ファイルをダウンロードしたシステムに、*管理者*としてログインします。
 - ステップ 2** pc90-vsaa-creator-3.1.0.0-FC14.zip ファイルを解凍します。
 - ステップ 3** USB ドライブを挿入します。
 - ステップ 4** pc90-vsaa-creator-3.1.0.0-FC14.zip ファイルを解凍したディレクトリに移動します。
Windows 7 オペレーティング システムを使用している場合、*管理者*としてファイルを実行する必要があります (ファイルを右クリックし、[Run as administrator] オプションを選択します)。
 - ステップ 5** コマンド プロンプトを開き、**buildkey** を入力して USB ドライブをフォーマットします。
 - ステップ 6** [Buildkey] ウィンドウで、USB デバイスを選択し、[Browse for Fedora 14] をクリックします。
 - ステップ 7** pc90-Fedora-14-i686-Live-Desktop.iso ファイルをダウンロードしたディレクトリに移動します。
 - ステップ 8** pc90-Fedora-14-i686-Live-Desktop.iso ファイルを選択し、[Accept] をクリックします。
 - ステップ 9** [Install VSAA] をクリックします。
 - ステップ 10** **y** を入力してインストールを開始します。
 - ステップ 11** インストールが完了したら、任意のキーを押して先に進みます。
-

USB ドライブからのブート

VSA Agent を USB ドライブにインストールしたら、次に USB ドライブからシステムをブートする必要があります。システムには、有線ネットワーク接続が必要です。ワイヤレス接続はオフにする必要があります。

USB ドライブからシステムをブートするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** システムをリブートし、リブート中に F12 キーを押します。
 - ステップ 2** ブート可能なデバイスのリストから、USB ドライブを選択します。
自動的にログインされます。
 - ステップ 3** コマンド プロンプトで、次のコマンドを使用してユーザを *root* に切り替えます。
`su -`
 - ステップ 4** パスワード **tpc1sc0** を入力します。
 - ステップ 5** 端末アイコンをクリックし、次のコマンドを使用して VSA Agent のインストールを確認します。

```
ps -ef | grep mtaa
```

次に、コマンドの出力例を示します。

```
root      6996      1  0 May22 pts/3    00:00:00 /usr/local/mtaa/bin/vsaaTrouteSvc
root      9276      1  0 May23 pts/3    00:00:05 bin/mtaaSoapServer
root      9281      1  0 May23 pts/3    00:00:00 bin/mtaaHttpServer
root      9286      1  0 May23 pts/3    00:16:59 bin/mtaaSipServer
root      9291      1  0 May23 pts/3    00:22:47 bin/mtaaActiveqos
root      9295      1  0 May23 pts/3    01:42:03 bin/mtaaPassiveqos
root     14004 13987   0 11:50 pts/1    00:00:00 grep --color=auto mtaa
```

VSA Agent プロセスのステータスは、Web ブラウザに VSA Agent システムの IP アドレスを入力して確認することもできます。

`http://localhost`

または

`http://Agent_IP_Address`

プロセスが動作していない場合は、「VSA Agent のインストールのトラブルシューティング」(P.7) を参照してください。

ステップ 6 VSA Agent の IP アドレスを設定します（「VSA Agent システムの IP アドレスの設定」(P.6) を参照）。



注意

USB ドライブにはライブ ファイル システムが格納されます。データの破損を防ぐために、VSA Agent システムは必ず正しい方法でシャットダウンしてください。

VSA Agent システムの IP アドレスの設定

VSA Agent システムの IP アドレスは、次の 2 つの方法のいずれかで設定できます。

- DHCP IP アドレス : VSA Agent システムの IP アドレスは自動的に取得されます。VSA Agent システムの IP アドレスを確認するには、`ifconfig` コマンドを使用します。VSA Agent システムには、SSH を使用してユーザ名 `root` とパスワード `tpc1sc0` でログインできます。
- スタティック IP アドレス : VSA Agent システムの IP アドレスを手動で設定する必要があります。

VSA Agent システムでスタティック IP アドレスを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** USB ドライブを使用して VSA Agent システムをブートします。「USB ドライブからのブート」(P.5) を参照してください。
- ステップ 2** [System] > [Preferences] > [Network Connections] を選択します。
- ステップ 3** [Query] ダイアログボックスで、root のパスワード `tpc1sc0` を入力し、[OK] をクリックします。
- ステップ 4** [Network Configuration properties] ウィンドウで、デバイス名をダブルクリックします。
- ステップ 5** [Ethernet Device properties] ウィンドウで、インターフェイスを [DHCP] から [STATIC] に変更し、必要なデータを入力します。
- 設定をリモートで変更する場合は、値を慎重に入力してください。誤った値を入力した場合、VSA Agent システムに対して物理的なアクセスが必要になります。
- ステップ 6** 設定が完了したら、システムをリブートし、`ifconfig` コマンドを使用して IP アドレス設定を確認します。
- また、VSA エージェント システムからデフォルト ゲートウェイに到達可能かどうかを確認する必要があります。

これで、Prime Collaboration を使用して、ネットワークの対応状況評価を実行する準備が整いました。手順については、『Cisco Prime Collaboration 9.0 Network Monitoring, Reporting, and Diagnostics Guide』の「Diagnostics for Video Endpoints」を参照してください。

VSA Agent のインストールのトラブルシューティング

表 3 VSA Agent のインストールのトラブルシューティング

問題	説明/回避策
VSA Agent のプロセスが動作していない	<p>1. SSH を使用して、パスワード <code>tpc1sc0</code> の <code>root</code> で VSA Agent システムにログインします。</p> <p>2. 次のコマンドを使用して VSA Agent を再起動します。</p> <pre><code>/usr/local/mtaa/bin/restart --ip localhost --force</code></pre> <p>別の VSA Agent システムを再起動するには、次のコマンドを使用します。</p> <pre><code>/usr/local/mtaa/bin/restart --ip Agent_IP_Adress --force</code></pre>
USB の作成に失敗する	<p>USB ドライブに VSA Agent をインストールしているとき、次のメッセージが表示されます。</p> <pre>Fedora-14-i686-Live.iso selected Verifying filesystem... Verifying SHA1 of LiveCD image... Extracting live image to USB device... There was a problem executing the following command: `tools\7z.exe x "C:/installs/VSAA/liveusb-creator-2.7.15/liveusb-creator-2.7.15/Fedora-9-i686-Live .iso" -x![BOOT] -y -oE:` A more detailed error log has been written to 'liveusb-creator.log' LiveUSB creation failed!"</pre> <p>USB ドライブに VSA Agent をインストールするシステムに対して管理者権限を持っていることを確認します。</p>

付録：テスト済みのシステムおよび USB ドライブ

テスト済みのシステム

表 4 に、Fedora Linux 14 に対応していて、VSA Agent 3.1 についてテスト済みのシステムを示します。

表 4 VSA Agent 3.1 の推奨システム モデル

メーカー	推奨されるシステム モデル	推奨されないシステム モデル
ASUS	—	ASUS K50IJ-BNC5
Dell	<ul style="list-style-type: none"> • Inspiron 1000、1100、1420、1501、1520、1525、1526、4150、5100、510M、150、5160、6000、600M、630M、6400、640M、700M、8100、8200、8500、8600、9100、9200、9300、9400、B130 • Precision M60、M65、M6300、M6400 • Latitude C610、C800、C840、CSx • Latitude D400、D420、D505、D510、D600、D610、D620、D800、D810、D820、D830 • Latitude X1、X300 • Vostro 1310 • XPS gen 2、M1210、M1330、M1530 	<ul style="list-style-type: none"> • Studio Laptop S15Z-2249CPN • Studio Laptop S1558-5691MSL • Inspiron Laptop IM501R-1212PBL
Gateway	—	<ul style="list-style-type: none"> • Gateway ID49C07u • Gateway NV53A24u

表 4 VSA Agent 3.1 の推奨システム モデル (続き)

メーカー	推奨されるシステム モデル	推奨されないシステム モデル
HP Compaq	<ul style="list-style-type: none"> • Compaq R3240US • Compaq Presario X1400、X1010AL • Compaq Presario V2000、V2617LA、v2335us、V3018cl • HP Compaq 6510b • HP Compaq 8510w • HP Compaq nc4200、nc6000、nc6120、nc6120、nc8230、NC8000 • HP G62-225DX • HP L2000 • HP Compaq nw8000、nw8440 • HP Compaq nx6110、nx7300、nx9030 • HP nx6110、nx6125、nx7010、nx7400、nx9010 • HP DV1000、dv1170ca、dv1227us、dv2000、DV2118la、dv2125、DV8000、dv8491ea、DV9000t、dv9013z、HDX X18-1180US、dv9500t • HP Pavilion dv1000、dv6000z、dv6636nr、dv6650ee、dv8040、dv9010us、DV9225US、dv9310us、DV9375eu • HP Pavilion tx1000z • HP Pavilion ZE1230、ZE2315us、ZE4430US、ZE4805us、zx5030EA、zv5340us、ZV6015us、zd8000 	<ul style="list-style-type: none"> • HP Pavilion Laptop (SKU : 9999133100050009 および 9983204) • Compaq Presario Laptop CQ62-215DX • HP Pavilion Laptop dv4-2145dx
IBM および Lenovo	<ul style="list-style-type: none"> • Thinkpad R30、R31、R40、R50、R52 • Thinkpad X20、X21、X24、X30、X31、X40、X61 • Thinkpad Z60 • Thinkpad T23、T30、T40、T40P、T41、T41P、T42、T42P、T43、T60、T60P、T61P 	—

表 4 VSA Agent 3.1 の推奨システム モデル (続き)

メーカー	推奨されるシステム モデル	推奨されないシステム モデル
ソニー	<ul style="list-style-type: none"> • Vaio VGN-FS790B • Sony Vaio PCG-FJ-170、PCG-FVR28、PCG-FX310、PCG-FX702、PCG-GRT896HP、 • PCG-GRX520、PCG-GRX616MP、PCG-K315S、PCG-N505VE、PCG-TR2A、PCG-TR3A、PCG-TR5F、PCG-V505ECP、PCG-VGN-A170P、PCG-VGN-B1XP、PCG-VGN-C140G、PCG-VGN-CR11z7R、PCG-VGN-fe11s、PCG-VGN-FE21S、PCG-VGN-FE31Z、PCG-VGN-FS315H、PCG-VGN-FS315H、PCG-VGN-FS640/W、PCG-VGN-FW11ZRU、PCG-VGN-S3HP、PCG-VGN-S3XP、PCG-VGN S580、PCG-Z505C/BP、PCG-Z600NEK 	<ul style="list-style-type: none"> • VAIO Laptop VPCS111FM/S • VAIO Laptop VPCEB23FM/BI
東芝	Toshiba Satellite C655-S5049 (高速ブートローダ F-12)	<ul style="list-style-type: none"> • Toshiba Satellite U505-S2008 • Toshiba Satellite L645D-S4030

テスト済み USB ドライブ

表 5 に、VSA Agent 3.1 についてテスト済みの USB ドライブを示します。

表 5 VSA Agent 3.1 の推奨 USB ドライブ

推奨されるメーカー	推奨されないメーカー
<ul style="list-style-type: none"> • Kingston • Patriot 	SanDisk

関連資料

Prime Collaboration のマニュアルの一覧については、『[Cisco Prime Collaboration 9.0 Documentation Overview](#)』のマニュアルの概要を参照してください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>